

那須平成の森 7月&8月のできごと

7月 7月特別プログラム 見つけよう！観察しよう！『冬虫夏草』！

7月14、15日の2日間連続で開催した「見つけよう！観察しよう！『冬虫夏草』！」。

実はキノコの仲間の彼ら冬虫夏草。どんな風に生きているか、見たり調べたりしたことはありますか？実はよく食べられる枯れ木から生えるキノコと違い、生きた昆虫に感染すると宿主の昆虫を殺して養分にして生えてくるんです。

このプログラムでは、冬虫夏草を紹介して見るだけではなく、実際に森の中で参加者全員で冬虫夏草を探し、掘り出してみ、部屋の中で虫メガネを使って細かに観察もしました！

つまようじのように小さな冬虫夏草の搜索はとっても大変ではありますが、それでもみんなで協力して、4種類7個の冬虫夏草を発見ができました。

参加者からは「館内でじっくり観察できた」「昆虫から生えることが面白いと思っていたが、生態全体を知れてより興味がわいた」といった感想をいただきました。

気になるけど見つけたことのない冬虫夏草。森の中で見られて皆さん嬉しそうでしたよ♪(檜山)



8月

日光国立公園 90周年記念

～那須平成の森で1日たっぷり、昆虫と戯れよう！～

日光国立公園は今年の12月で90周年を迎えます！そんな記念の年に、特別感のあるプログラムをできないかと、以前実施したイモムシプログラムとライトトラップ調査を1日にまとめ、昆虫の習性や一生を学べるプログラムを提案し、実施に至りました。



◀昼編「イモムシを探そう！」

当日は、昼編「イモムシを探そう！」夜編「ライトトラップで虫を呼ぼう！」の2部構成で開催。

昼編では、ひたすらイモムシを探し、見つかったイモムシから那須平成の森がどんな環境なのか、イモムシの一生はどんなものかを参加者の方と一緒に学びました。

▶夜編「ライトトラップで虫を呼ぼう！」

夜編ではライトトラップを用いて、光に寄ってきた昆虫を観察！それに加え、どうして虫は光によって来るのか、光が昆虫に与える影響とは何か等、観察だけにとどまらない昆虫の習性や人との関係を深掘りしました。



結果的に30名の方々にご参加いただき、参加者の方からは「観察だけに終わらず、光に寄ってくる理由などを知れて良かった」「普段は目を向けない場所に注目した。これから意識していきたい」など、昆虫に対する印象や自然への視点が変わったようでした。

一日がかりのプログラムで大変でしたが、また実施したいと思える企画になりました！（西垣）

■お問い合わせはこちらへ

那須平成の森フィールドセンター
9:00～16:30（5・7・8月のみ9:00～17:00）
水曜休園（GW、お盆、年末年始は無休、月により臨時休園日あり）

〒325-0302 栃木県那須郡那須町高久丙3254
TEL: 0287-74-6808 FAX: 0287-74-6809
HP: <https://nasuheisei-f.jp>

日光国立公園

那須平成の森 通信



第55号
令和6年10月

森を歩いて 秋を探そう。

